



東陽病院 副院長 伊藤 文憲

科的な治療が最もお薦めですが、高齢者や心臓・呼吸器等に合併症を持つ場合には手術が困難なことがあります。一つは胆囊胆石を採る方法としては2つあります。

胆管の結石は胆嚢で作られたものが移動して来ることが大半です。稀には肝内胆石が胆管に降りて来る場合もありますので、術前の診断が大切です。腹部超音波や腹部CTにてスクリーニングを行い、精密検査としては肝臓に針を刺して胆管を造影する方法(PTC)があり、結石の部位と個数、胆管の形状などの正確な診断が可能となります。

黄疸や発熱のみられない胆管胆石は、腹痛発作により発見されることが多く、この段階で治療が行われると、胆管胆石も心配いません。お薬では結石の除去は無理ですので、無症状の時期に正確な診断の後に外科的治療が可能となります。

胆管胆石のお話です。胆嚢に比べて胆管は胆汁の通り道に当たりますので、ここに結石があるといろいろな障害がみられます。胆汁の通過障害による黄疸、細菌感染症による発熱がみられます。胆石が胆管の出口の乳頭部にはまり込むと、38度以上の発熱にショックや意識障害を伴う急性化膿性胆管炎を起こし、早急な対策がないと死に至る病態となります。

健康への

メツセージ

シリーズ
108

胆石症について(2)

石の時に述べた体外衝撃波により結石を破碎・縮小して十二指腸に排出する方法(ESWL)です。もう一つは内視鏡を用いた結石除去術です。内視鏡を十二指腸まで入れて、胆汁の出口である乳頭部に小さな切開を入れて、特殊な内視鏡用の器具を用いて結石を除去します。結石が大きい場合にはESWLに内視鏡的乳頭切開を追加して結石の除去を行うこともあります。胆管胆石を内視鏡的に除去した後に胆囊胆石などが残った場合には、前回述べたように胆囊胆石の治療法に準じます。溶解

療法、ESWLや腹腔鏡下の胆囊摘出術を行います。しかし、急性の胆管炎症状がみられた場合には、のんびりとした治療はできません。早急に胆管炎を改善しないと、前に述べたショックを起こす危険があります。抗生素だけでは治療は困難です。皮膚を通してチューブを胆管に入れて炎症を取り除く方法(経皮的胆汁ドレナージ・PTCD)や、内視鏡を用いてチューブを胆管に入れる方法(内視鏡的ドレナージ・ERBD)を行い胆管炎が改善した後に、前に述べた手術や内視鏡的結石除去術を行います。このように胆管胆石は時に重症化することがありますので、胆管炎を起こさない段階での治療が望ましく、胆石のはまり込む嵌頓状態では、緊急にPTCDやERBDが必要となります。

以前に勤務した船橋では、年間十数例の緊急処置を行っています。東陽病院でも緊急時に備えて器材が準備されており、いつでも実施可能となっています。

※東陽病院の休日当番日
11月17日(日)・12月8日(日)
午前9時～午後5時

医師2名が待機・来院の際は電話を
☎ 841-3335

“2002”開館記念特別企画 北村薰(推理作家)&大野隆司(版画家)トークショー



若い女性を主人公にしたミステリーで人気のある北村氏と、童話の挿絵やポスター制作等で活躍している版画家大野氏の楽しいトークショーです。ぜひご来場ください。

テマ『書くこと描くこと』
日時 11月23日(祝) 午後1時30分～3時30分
会場 図書館2階ハイビジョンホール
定員 先着150名
申込み 電話・図書館ホームページ・カウンター
でお申込みください。

講師紹介

北村 薫氏 昭和24年埼玉生まれ。早稲田大学第1文学部卒。高校で国語の教師を務める傍ら、平成元年「空飛ぶ馬」でデビュー。日本推理作家協会賞受賞作家。著書に「スキップ」「ターン」などがある。現在は、執筆活動に専念。

大野隆司氏 昭和26年東京生まれ。家業のそろばん塾を経営。昭和58年頃、安中安規の版画を見て感動し、独学で版画の制作を始める。「月刊汎画」編集発行人。



=町立図書館=

☎ 843-3111

クリスマス おはなし会

影絵や楽しいお話をいたします。
日時 12月7日(土) 午後2時～
場所 図書館2階ハイビジョンホール
定員 80名
申込み 受付は11月9日(土)から開始します。図書館カウンター、またはお電話でどうぞ。

休館日

11月11日(月)、18日(月)、25日(月)、26日(火)、27日(水)、12月2日(月)